



上がるのは物価ばかり！ 今こそ、市民の苦難に 寄り添う**市政**を



どうやって暮らすねん！

日本はこの30年間、賃金が上がらない国となっています。そこに物価高騰が襲いかけ、市民生活は深刻な状況に陥っています。しかし、岸田政権は、戦争する国づくりのために、莫大な税金を軍事費へ投入し、政治とカネの問題が後を絶たず、国民に深い不信と怒りが沸き上がっています。

共産党市議団は、市民とともに地方自治をすすめる市政へ、8月通常会議に取り組み、来年度予算編成にあたって政策要望を行いました。

市民の願い実現へ 政策要望を市に提出

共産党市議団は10月19日、大津市の2024年度予算編成にあたり、重点要望の6項目を含む179項目の政策要望を提出しました。国言いなりでなく、市民の困難に寄り添い、ともに地方自治をすすめる市政への転換が必要です。要求実現に向けて、引き続き市民の皆さんと力を合わせて取り組みます。

- 重点要望
- ① 物価高騰から市民の暮らしを守る施策を
- ② 市民の交通権・移動権を保障する地域公共交通の充実を
- ③ 介護保険・国民健康保険料負担の軽減を



政策要望を市長に手渡す共産党市議団

- ④ ケア労働者の処遇改善を
- ⑤ 公共施設の猛暑対策を
- ⑥ 土地利用規制法の運用による市民への人権侵害を防げ

2022年度決算の 認定に反対



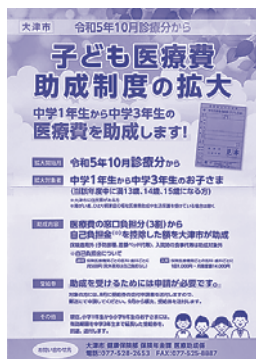
コロナ禍に加えて物価高騰の追い打ちから、市民のいのちと暮らしを守るための施策が求められました。国からの総額27億円の新型コロナ対応の地方創生臨時交付金頼みでは、格差が広がるもとで困窮する市民への支援は不十分でした。一方で、市の財政調整基金残高は97億円に積み上がっています。

学校トイレの改修の前倒しなどには着手されましたが、結果に責任を負わないコンサルタント業務委託料は過去最高額の3億円近くになっており、見直しが必要です。さらに、公道での自動運転の実証実験は、過去にも2度の接触事故を起こしているにもかかわらず推進され、急発進による乗客の転落事故を招きました。

その他、不公平な上に安定財源が損なわれるふるさと納税の問題や、適正な事務執行のために不足する人員配置等を指摘しました。

子育て支援の要望実現

- ★ 10月から、子どもの医療費助成が中学校卒業までの子どもにも拡充！
- ★ 3人目の子どもの給食費免除（第1子が18歳までという条件あり）
- ★ 国保料の子どもの均等割負担が就学前の子どもは半額に



医療機関に張り出された「子ども医療費助成制度拡大」のポスター

市民団体の要望とともに、
繰り返し市議団が議会で取り上げてきました

大津市議会議員 政治倫理条例違反の疑い

—— 政倫審の設置決定！ ——

大津市議会の最大会派、自民党系の「新和会」(9人)が、8月25日、市内ホテルにおいて参加者370人で会費1万円の飲食を伴う「市民と語る会」を開催したことが、数社の新聞報道で明らかとなりました。「会費徴収は会場であるホテルに委ねた」としていますが、「主催者はあくまでも新和会」であり、「収支を伴う政治活動との疑念が持たれ」ています。新和会は議会会派であり、政治団体として届出がなされていません。

このことから政治倫理条例第3条第5項の「飲食物の供与等その他の不正の疑惑が持たれる行為をしてはならない」に抵触するとして、9月22日、日本共産党大津市議団、清正会、平和と市民自治の3会派6人は、議長に政治倫理審査会の設置を請求し、市議会を設置を決めました。市民の信頼を損ね、政治不信につながることから、市民に説明責任を果たすことを求めています。

質問 紹介

2023年8月通常会議

市民の暮らし守れと改善を迫る

柏木けい子 市議

その他の質問項目 ●児童クラブの充実について

不登校の子どもへ、 フリースクールの利用料補助を

学校にいけない、行きづらい…不登校の子どもが10年連続で増え、去年は過去最高でした。不登校は「学校にいけない自分はダメだ」と自己否定に追い詰められてしまいます。心が疲れた子どもの居場所は多様な形で必要です。市内ではフリースクールが17か所運営されています。しかし公的な補償はなく、運営はクラウドファンディングや保護者の負担で賄っておられます。県内では6つの市町で利用料の減免のための補助をしています。

柏木市議は、経済的な事情でフリースクールを選べないことがあってはならない、保護者への利用料の補助を求めました。

彦根市にある
フリースクール「てだのふあ」



市は
他市町の様子を見て検討するとの答弁に留まりました。

林まり 市議

その他の質問項目 ●生活保護行政の改善
●次期DV 基本計画について

物価高騰による生活困窮から市民を守れ！

40年ぶりの物価急騰が市民の暮らしを直撃し、余裕のない低所得世帯やコロナ禍から借金返済に苦しむ世帯にとっては死活問題です。調査により、滞納に伴う水道の停止件数が、6月245件、7月201件と大変深刻なことがわかりました。

林市議は、困窮する市民を支援につなげるための連携体制の見直しと強化、エアコン購入や修理、電気代や灯油購入等への補助制度を求めました。

市は
重層的支援体制整備事業の本格実施に向けて取組を進めているところで、各種相談事業を行っており、市民経済に及ぼす影響については今後も注視していくとの答弁に留まりました。

小島よしお 市議

その他の質問項目 ●土砂・産廃不法投棄撤去命令の履行について

市民を守るため危機感を持った原発対策を

岸田政権が福島原発事故はなかったかのように原発回帰政策を強行、福井県では、危険な老朽原発3基を含む7基もの原発が再稼働されました。万が一にも事故が起きれば、近畿、中部圏の住民にとって死活的な状況になることは明らかです。

小島市議は、以前、市長が示した「原発に依存しない新しいエネルギー社会をめざすことは必要」との見解に変わりはないか。汚染水（アルプス処理水）の海洋放出は中止を。大混乱が予想される避難対策は他市他県と連携した訓練を。子どもたちの甲状腺癌を防ぐ安定性ヨウ素剤の効果的配布体制等を求めました。

市は
市長見解に変わりはないとしたものの「国の責任において進められるもの」などと危機感のない回答に終了しました。

杉浦とも子 市議

その他の質問項目 ●待機児童・児童クラブ
●大津市民病院の中期計画 まちづくり

市民置き去りの大型店舗撤退を許すな！

イオンスタイル大津京
撤退が噂される



イオンスタイル大津京の閉店情報で、従業員や地域住民から不安な声が寄せられています。同店はジャスコシティ西大津として開業し、その後20年余の間、暮らしを支える役割を担ってきました。近年、周辺への総合スーパーなどの乱立が閉店の背景とされていますが、同店は日用品や学用品などの取り扱い店舗であり、高齢者や子どもを含む子育て世帯にとって、閉店により非常に不便で、暮らしへの影響が危惧されます。

杉浦市議は、大型店舗の進出と撤退が地域住民の暮らしに大きな影響を及ぼすことから、従業員の雇用や空き地・空き店舗、後継店舗対策などの課題に地元自治体として関与し、地域住民や従業員の安心への対応を進めることを求めました。

市は
今後影響の把握を行い、同店には丁寧な対応を促すとの答弁に留まりました。

児童クラブの環境改善の予算を

補正予算では、災害復旧費や民間児童クラブ整備費が盛り込まれました。児童クラブのニーズは高まるばかりですが、公立児童クラブの老朽化、狭隘化も支援員の不足も深刻です。子どもたちの安全安心の環境整備への予算措置を求めました。

国言いなりの市民病院の機能削減に反対

独立行政法人大津市民病院の運営方針である中期計画の変更が提案され、病院の機能分化で分娩再開は目指さないこと、医師の業務を看護師など他の職種に託す等で医師の働き方改革を行うとしています。医師・看護師の過重労働など課題解決には、医療従事者を増員してこそ市民病院としての役割が果たせます。国が示す、公立病院の機能削減につながる計画変更反対しました。

8月通常会議の議案

市民の 願いを 否決	内容	日本共産党	新和会 (自民系)	湖誠会 (自民系)	市民ネット (民主系)	公明党	維新	協生会 (民主系)	清正会	参政会	平和
		「インボイス制度の実施の延期、制度の中止を求める意見書」を政府に送付することを求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×
健康保険証の廃止をしないように求める意見書を政府に送付することを求める	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	
新型コロナの5類感染症移行後の対策を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
県立小児保健医療センターの病床削減の中止を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
精神障害者2級まで福祉医療費助成制度の対象にすることを求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	

○=賛成、×=反対 (その他6件の意見書案が提出されました)

請願・意見書

市民団体から、提出された2つの請願に共産党市議団は、全議員の賛同を求めて賛成討論をしましたが、反対多数で否決されました。さらに、共産党市議団が提出した全ての意見書案が、反対理由も示さず賛成少数で否決されました。

みなさんと
ともに
日本共産党
大津市会議員団

杉浦とも子
090-4491-1522

林まり
090-5045-2490

柏木けい子
090-1919-5298

小島よしお
090-5058-2832